

# 院生プロジェクト「障害者と job&work」研究会

## 【目的】

本研究会は障害者の働くことに関する研究を行なっている院生が共同研究を通じて、各院生の博士論文執筆に必要な研究力を向上させることを目的とする。本研究会メンバーが研究対象とする障害種別は様々である。メンバーには視覚障害者、聴覚障害者、身体障害者、精神障害者、知的障害者に関する研究を行なっているものがある。院生同士協働・討論する能力を培い、研究する力を身につける。各個研究を「job&work」のテーマのもとで編集し、より大きな成果へとつなげる実践的能力を培い、独創的な協働研究を組織できる研究者となる。

## 【方法・内容】

毎月定例会を対面または Zoom で開催し、各院生の研究動向を発表し、討論を通じて学術研究の発展に寄与できる実践力を養う。また、研究目的に沿った研究者に講演してもらい、理解を深める。

## 【意義】

障害種別によって合理的配慮を含めた労働条件、雇用方法は大きく異なる。修了生である駒澤により精神障害者の働き方について明らかにされたことは多い。しかし、同じ精神障害者でも異なる困難さを見いだすこともできる。また、現在、特別支援教育を受けている児童生徒や不登校児童の増加により障害者雇用の拡大は予想され、全労働人口減少の中、課題も多い。障害者雇用として、特例子会社、A 型・B 型就労継続支援事業所は急増し、ビジネスとして成長している。このような状況下、異なる視点で共同研究することにより、各自の研究もまた深まり実践的な能力が培われると考える。

【参考文献】駒澤 真由美 2022 『精神障害を生きる——就労を通して見た当事者の「生の実践」』, 生活書院。

## 【公開研究会について】

本年度の講師については検討中である。研究会立ち上げの初年度であるため、各々の興味関心を確認しながら、年間スケジュールの前半をもって検討し、実施の計画を立てたい。なお、本年度想定しているのは、就労支援に関する専門家の招聘および2時間程度の公開研究会の開催である。

## 【調査】

本年度において、就労支援事業所への実地調査(フィールドワーク)を実施する予定である。フィールドの選定および調整については未実施であるが、研究会メンバーの中には福祉関係のネットワークをもつ者も多く、行いたい。

## 【研究成果発表の方法】

各自所属する学会、研究会において発表する。

公開講演会については関係者から指導・助言を受けた上で生存学ホームページに掲載する。

### 《メンバー》

栗川 治	公共7回生
宮本 敬太	公共5回生
大矢 雅之	共生4回生
篠田 紀一郎	公共4回生
◎竹村 文子	公共4回生
種村 光太郎	公共4回生
山口 和紀	公共4回生
山本 由紀子	公共4回生
原田 武彦	公共3回生
大橋 一輝	共生2回生
田場 太基	公共2回生

### 《研究計画》

対面または zoom にて毎月定例会を行なうことで各自の研究を深める。

#### 【年間スケジュール予定】

#### 2024 年

5 月	自己紹介、各院生の研究について討論
6 月	公開講演会について講師の調整
7 月	各研究について報告・討論
8 月	輪読会
9 月	公開講演会の進行方法、担当の調整、輪読会
10 月	講演会告知、各研究報告・討論 フィールドワーク
11 月	公開講演会開催
12 月	反省会

#### 2025 年

1、2 月	各研究の報告・討論
-------	-----------